

仕 様 書

消化器内視鏡スコープ

沖縄県立八重山病院

令和 5 年 10 月

1. 調達物品及び構成内訳

消化器内視鏡スコープ

2-1 . 上部消化管汎用ビデオスコープ 1台

以上の搬入、据付、調整等、使用可能な状態での引渡しを受けるための役務等を含む。

2. 機器の機能、性能、規格等

本システムの各構成機器は、以下記載の機能・性能の要件を満たしていること。

2-1. 上部消化管汎用ビデオスコープ

(1)挿入性

面順次方式のビデオスコープで先端部外径 9.8mm、軟性部外径 9.9mm の細径でありながら 3.2 mmの大径チャンネルを有しており、食道、胃、十二指腸のように複数の部位の検査に適しており、また吸引能力・処置能力に優れている。

(2)操作性

- ① 操作部には 4 つのスコープスイッチを有し、フリーズ、リリース、周辺装置のリモート操作等が可能である。
- ② 新設計のワンタッチコネクターを採用し、検査セットアップと検査後のスコープ取り扱いが容易である。

(3)処置性

ダウンアングル 120° と湾曲可動域の拡大により病変部へのより高いアプローチ性をサポート

(4)観察性能

- ① ハイビジョン対応の CCD を搭載しており、高精細な画像で観察又は治療が出来る。
- ② ウォータージェット機能を有しており、観察又は治療時の胃内の洗浄を行える。

(5)画像強調機能

- ① EVIS LUCERA ELITE システム、X-1 システムとの組合せにより、光デジタル法による狭帯域光観察 (NBI) が可能である。
- ② 構造強調、輪郭強調、適応型 IHb 色彩強調による画像強調観察が可能である。

(6)安全性

高周波を利用したの内視鏡的処置を行うための高周波漏洩電流対策がとられている。

(7)洗浄性

送気・送水、吸引ボタンのオートクレーブが可能、且つシリコンオイル塗布が不要である。

(8)防水性

ワンタッチコネクタの採用で防水キャップの着脱が不要となり、不用意な水没が回避され手軽に洗浄・浸漬消毒が可能である。

以上